

令和7年1月31日

保護者の皆様へ

大阪市立墨江丘中学校
校長 進藤 文代
(担当 木下 祐介)

ドキュメンタリー映画『天から見れば』の上映会について

寒中の候、保護者の皆様には益々のご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。この度、大阪市教育局の事業である、《がんばる先生支援事業》の一環として、ドキュメンタリー映画の上映会を開催させていただくことになりました。生徒・保護者・地域の皆様を対象に、日本画家である南正文さんの生い立ちや生き様を描いた映画、『天から見れば』を上映させていただき、生きる意味や人の命の力強さについて、考えていただくきっかけになればと考えております。また、上映後には正文さんの妻、南弥生さんに、正文さんの思いや作品の背景についてお話をいただきます。

平日のお忙しい時間帯ではございますが、一人でも多くの皆様にご覧になっていただきたいと考えております。ぜひ趣旨をご理解いただき、上映会へお越しいただきますよう、よろしくお願い致します。

1. 日時 令和7年2月5日（水）
15：20開場 15：50開演 18：00終演(予定)
2. 場所 住吉区民センター小ホール
3. ゲスト 南 弥生さん（主人公 南正文さんの妻）
4. 入場料 無料（どなたでもお越しいただけます）

・天から見れば（入江富美子監督、2013年公開）

幼い頃に両腕を失くし、口筆画家として生きた南正文さんと、その師で同じく両腕を失った大石順教尼の生きざまを通して、人の命の力強さを描くドキュメンタリー。1951年生まれの南さんは、小学校3年生の春、不慮の事故で両腕を切断する大怪我を負う。そして14歳の時に今は亡き口筆画家・大石順教尼に出会い、足の代わりに口を使うこと、絵を描くこと、そして勉強することなどを条件に順教尼に弟子入り。後ろ向きだった心は大きく転換していく。やがて口筆画家として活躍するようになり、家族や友人に囲まれて生きる南さんの姿は、多く人々に希望を与えることになる